

## 9月4日 朝礼にて 校長講話

9月1日は、何の日だったかという、防災の日でした。今日、時間割で聞いていると思いますが、各学年とも、あま市の防災ネットの方がみえて、防災＝何かあったときにどんな風に行動したらいいか、について教えていただきます。また、今週は、大藤先生から朝の時間帯に学校で災害があったときにどんな風に行動するか教えていただきます。どちらもとっても大切です。しっかりと勉強して下さい。

さて、去年、こわいもののお話として「地震」「雷」「火事」「親父」という話をしたのを覚えていますか。そのときに、地震はいつ来るか、くわしいことはあまりわからない。明日かも知れないし、何十年後かも知れない。しかし、いざというときに備えておけば、被害を最小限に食い止めることができるということをお話ししました。これを「備えあれば憂いなし」といいますが、いつも、こんな風にすれば助かるんだということをきちんと身につけておきたいと思います。

東日本大震災の時、釜石市の小中学校では津波の被害者がゼロだったそうです。どうしてかという、釜石市では、大きな地震が来たら大津波が来るということを知っていて、そのときどうすればいいかを日頃から訓練していました。少しでも早く、少しでも高いところに命を守るために避難しようということ徹底的に訓練していたそうです。人間は、一番に逃げたらかっこ悪い。誰かが逃げたら逃げようという気持ちがあるそうです。誰かがやったら自分もやろうかなと言う気持ちがあるそうです。でも、そうではなくて、命を守るために率先して1番にやりましょうということを繰り返し訓練し、大切な命を守るためにその通りに行動できたということです。みんなも、今週、秋竹地区の防災訓練がありますし、今日、防災ネットの方から防災のお話を聞いたり、また、大藤先生からのお話を聞いたりする中で、いざというときにどういう風に行動したらいいか一人一人がしっかりと学んでほしいと思います。大事な命は一つだけです。自分で自分の命を守れるように学んでいきましょう。